

# 小学校第5学年算数科指導案

期 間 9月4日(月)～9月14日(木)  
対 象 盛岡市立巻堀小学校第5学年  
男子5名、女子5名 計10名  
指導者 雨 森 英 明

1 単元名 小数のかけ算を考えよう(使用教科書会社 東京書籍)

2 目標

乗数が小数の場合の乗法の意味とその計算の仕方を理解し、それをを用いる能力を伸ばす。また、計算法則は小数の場合でも成り立つことを理解する。

3 教材観

本単元は、小数をかける乗法について乗法の意味の拡張、計算の仕方の理解を主なねらいとしている。小数をかけるということは、これまで学習してきた「 $\times$ (整数)」における同数累加の考え方を用いることができず、意味の拡張を行う必要が出てくる。計算の仕方については、「(整数) $\times$ (整数)の計算を行い、小数点を移動する」という計算手順を覚えさせるのではなく、(小数) $\times$ (小数)を(整数) $\times$ (整数)にする方法や、小数点を移動する理由を理解させることが大切であると考える。さらに、それらの理解の上に立って求積公式や、「もとにする量 $\times$ 何倍=比べられる量」の問題場面へと乗法の意味を拡張していくことが大切であると考える。

4 児童観

児童は第5学年になり、小数と整数のしくみ、小数に整数をかける計算について学習してきている。また日常の生活の中でも「 $\sim$ の3.2倍」というような表現を聞いたことがあるものと思われる。しかし、小数をかける問題については同数累加の考えでは解くことができず、とまどいを持つものと思われる。中には、小数をどのような方法で整数に置き換えるか考えないまま、安易に小数点を取って整数にして計算しようとする児童もいると考えられる。

5 指導観

本単元の指導においては、実物の提示、数直線や図、言葉の式の活用をとおして小数をかけることの意味の理解を深めていきたいと考える。また、計算の仕方については、小数を整数にすること、整数の計算をすること、小数点を移動することの三つの計算手順をそれぞれ考えさせることで計算の仕方の理解を図っていきたいと考える。その際、既習事項である整数の乗法を用いながら計算の仕方を考えさせていきたいと考える。

6 単元の評価規準

評 価 規 準			
関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解
○乗数が小数のかけ算を既習の整数の数量関係などを基にして、乗法の式に表そうとする	○整数の乗法の計算と関連づけて、乗数が小数の乗法計算の仕方を考える	○乗数が小数の乗法計算をすることができる	○小数が小数の乗法の意味やその計算の仕方を理解する

7 単元指導計画 (授業実践は1～5時間目 \*はコンピュータ教材を用いる授業)

時間	ねらい	学習活動
* 1	小数をかけることの意味を理解する 整数×小数の計算の仕方を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リボンを使い問題場面を把握する</li> <li>・0.1mをもとにして2.6mを整数に置き換える方法を使い代金を求める</li> </ul>
* 2	小数をかけることの意味を理解する 整数×小数の計算の仕方を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の問題について2.6mを10倍にし26mと考える方法を使い代金を求める</li> </ul>
* 3	小数×小数の計算の仕方を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプの重さと長さをそれぞれ10倍にし整数にする方法でパイプの重さを求める</li> </ul>
* 4	小数×小数の筆算の仕方を理解する 小数×小数の筆算ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の問題を筆算で計算する方法を考える</li> <li>・小数×小数の筆算の問題を解く</li> </ul>
5	小数×小数の計算(末尾の0を処理したり0を補う場合)ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数×小数の計算の仕方を3つの計算問題を手掛かりに末尾の0を処理する場合や一の位に0を補う場合を含めて一般化を図る</li> </ul>
6	乗数が1より大きい場合と小さい場合について被乗数と積の関係を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線を手掛かりにしたり実際に計算することで乗数が1より大きい場合と小さい場合の被乗数と積の関係を調べる</li> <li>・調べた結果から一般化を図る</li> </ul>
7	長方形の辺の長さが小数の場合も面積の公式が適用できることを理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辺の長さが小数の場合に1辺が1mmの正方形がいくつ分か考え面積を求める</li> <li>・辺の長さが小数でも面積の公式を使って求められることを理解する</li> </ul>
8	小数の場合でも交換、結合、分配法則が成り立つことを理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換法則、結合法則、分配法則について整数で成り立ったことが小数でも成り立つか実際に計算をして調べる</li> </ul>
9	学習内容を確実に身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のかけ算についてのいろいろな問題に取り組む</li> </ul>
10	小数倍の意味を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テープ図や数直線をもとにしたり整数÷整数を手掛かりに小数倍の意味を理解する</li> </ul>
11	倍を表す数が小数の時も、比較量は基準量×何倍で求められることを理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線をもとにしたり、基準量×整数倍をもとにし基準量×小数倍を理解する</li> </ul>
12	学習内容の理解を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解を確かめ、理解が十分でない事項について補充を行う</li> </ul>

8 展開

1/12時間

本時のねらいと具体的評価規準

○整数のかけ算や数直線、言葉の式を使い、計算の意味が分かる。(知識・理解)

A 整数のかけ算や数直線、言葉の式を使い立式の根拠を説明できる。

B 整数のかけ算か数直線か言葉の式を使い立式の根拠を説明できる。

Cへの支援

数直線や言葉の式を用いて整数のかけ算と比較させ乗数が小数の場合でも立式できることを理解させる。

○0.1mをもとにして小数を整数に置き換えて計算する仕方が分かる(知識・理解)

A 0.1mをもとにして小数を整数に置き換えて計算する仕方を順序よく説明できる。

B 0.1mをもとにして小数を整数に置き換えて計算する仕方を説明できる。

Cへの支援

図をもとに、2.6mは0.1mが26こであることと0.1mの代金が9円であることをつかませ、9円が26こ分を求めることを理解させる。

	学習内容・活動	指導上の留意点	コンピュータ教材・資料・評価
導入	<p>1 本時の問題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の提示したリボンをもとに本時の問題を知る</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1mのねだんが90円のリボンを□m買いました。代金はいくらですか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>整数の場合について数直線を書く</li> <li>整数の計算をもとに言葉の式をつくる</li> <li>本時の問題について立式する</li> </ul> <p>2 学習課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>90×2.6の計算の仕方を考えよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1m、2m、3mのリボンを提示し問題をつかませる</li> <li>整数mについて代金をもとめさせる際、式と根拠をはっきりさせる</li> <li>題意に合わせ一斉指導により数直線を書かせたり言葉の式を考えさせたりする</li> <li>本時は2.6mの代金を求めることを知らせる</li> <li>整数の場合との比較や数直線、言葉の式をもとに根拠を明らかにさせ立式させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータ教材・資料・評価</li> <li>リボン(1m、2m、3m、)</li> <li>紙板書(問題文)</li> <li>紙板書(数直線、言葉の式)</li> </ul> <p>評 立式の根拠を説明できたか(発言)</p>
15分 展開	<p>3 解決の見通しをもつ</p> <p>4 計算の仕方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.6mを整数に置き換える方法をコンピュータ教材を見て考える</li> <li>整数での計算の仕方について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗数が整数の場合には計算できたことから整数にすれば計算できることに気づかせる</li> <li>整数に置き換え方法をコンピュータ教材を使って提示することを知らせ、その意味を考えさせる</li> <li>気づいたこと、考えたことを発表させ、話し合わせる</li> <li>2.6mを小数に置き換える方法をプリントに記述させる</li> <li>2.6mは0.1mが26こという考えを使って代金の求め方を提示することを知らせ、考えさせる</li> <li>気づいたこと、考えたことを発表させ、話し合わせる</li> <li>2.6mは0.1mが26こ、0.1mは9円であることを使って代金を求める方法をプリントに記述させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータ教材(1-1)</li> <li>評 整数に置き換える方法を説明できたか(プリント、発言)</li> <li>コンピュータ教材(1-2)</li> <li>評 0.1mが9円であることを使って計算の仕方を説明できたか(プリント、発言)</li> </ul>
25分 終末	<p>5 学習のまとめをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>0.1mをもとにして2.6mは0.1mが26こ考えて計算する</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容をコンピュータ教材を使って教師と一緒にまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータ教材</li> </ul>
5分	<p>6 感想を記入する</p>		

2/12時間

本時のねらいと具体的評価規準

○2.6mを10倍し26mの代金を求めてから2.6m分の代金を求める計算の仕方が分かる。(知識・理解)

A 2.6mを10倍し26mと考えること、 $90 \times 26$ をすると積が10倍になっていることと26mの代金を $1/10$ にすると2.6mの代金を求められることを説明できる。

B 10倍すること、積が10倍になっていること、 $1/10$ にすることを説明できる。

Cへの支援

図をもとに2.6mを整数にするため10倍することをつかませる。26mの代金を求め、 $1/10$ にすることをつかませる。

	学習内容・活動	指導上の留意点	コンピュータ教材・資料・評価
導入	<p>・前時学習内容の想起</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1mのねだんが90円のリボンを2.6m買いました。代金はいくらですか</div> <p>1 本時の学習内容を知る</p> <p>2 学習課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><math>90 \times 2.6</math>を別の方法で計算しよう</div>	<p>・0.1をもとにして小数を整数に置き換えて計算したことを想起させる</p> <p>・前時とは別の方法で整数にして計算することを知らせる</p>	<p>・紙板書(問題文)</p>
10分 展開	<p>3 解決の見通しをもつ</p> <p>4 計算の仕方を考える</p> <p>・2.6を整数にする方法をコンピュータ教材を見て考える</p> <p>・整数での計算の仕方について考える</p> <p>・2.6mの代金を求める方法を考える</p> <p>5 話し合う</p> <p>・前時のやり方との共通点を見つける</p>	<p>・小数が整数になれば計算できそうだと見通しをもたせる</p> <p>・整数にする方法をコンピュータ教材を使って提示することを知らせ、その意味を考えさせる</p> <p>・気づいたこと、考えたことを発表させ話し合わせる</p> <p>・2.6mを小数に置き換える方法をプリントに記述させる</p> <p>・2.6mを10倍して26mにするという考えを使って代金の求め方を提示することを知らせ、考えさせる</p> <p>・気づいたこと、考えたことを発表させ、話し合わせる</p> <p>・26mの代金についてプリントに記述させる</p> <p>・26mの代金から2.6mの代金を求める方法を考えさせる</p> <p>・気づいたこと、考えたことを発表させ、話し合わせる</p> <p>・2.6mの代金を求める方法をプリントに記述させる</p>	<p>コンピュータ教材 (2-1)</p> <p>評10倍にすることが説明できたか(プリント、発言)</p> <p>コンピュータ教材 (2-2)</p> <p>評26m分の代金について説明できたか(プリント、発言)</p> <p>コンピュータ教材 (2-3)</p> <p>評2.6mの代金を求める方法を説明できたか(プリント、発言)</p>
25分 終末	<p>6 学習のまとめをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><math>90 \times 2.6</math>の計算は2.6を整数にして計算する</div> <p>7 練習問題に取り組む</p> <p>8 感想を記入する</p>	<p>・どちらも2.6mを整数の26にして計算したことを確認する</p> <p>・本時の学習内容をコンピュータ教材を使って教師と一緒にまとめる</p>	<p>コンピュータ教材</p>
10分			

3/12時間

本時のねらいと具体的評価規準

○ $2.3 \times 2.8$ の計算をするために、乗数や被乗数を10倍して、整数にしてから計算する仕方が分かる。(知識・理解)

A  $2.3 \times 2.8$ の計算をするために、乗数や被乗数を10倍して、整数にしてから計算する仕方をもとの式の積の大きさと比較して説明できる。

B  $2.3 \times 2.8$ の計算をするために、乗数や被乗数を10倍して、整数にしてから計算する仕方を説明できる。

Cへの支援

図をもとに乗数と被乗数を10倍して計算すると積はもとの式の積の100倍になっていることをつかませる。

	学習内容・活動	指導上の留意点	コンピュータ教材・資料・評価
導入	<p>1 本時の問題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 mの重さが2.3kgのパイプがあります。このパイプ□mの重さは何kgですか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>整数の場合について数直線を書く</li> <li>整数の計算をもとに言葉の式をつくる</li> <li>本時の問題について立式する</li> </ul> <p>2 学習課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><math>2.3 \times 2.8</math>の計算の仕方を考えよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>2.3\text{kg} \times</math> 整数mの問題を見せ、整数mについて重さを求めさせる。その際、式と根拠をはっきりさせる</li> <li>題意に合わせて一斉指導により数直線をかかせたり言葉の式を考えさせたりする</li> <li>2.8mの重さを求めることを知らせる</li> <li>数直線や言葉の式をもとに根拠を明らかにさせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙板書(問題文)</li> <li>紙板書(数直線、言葉の式)</li> </ul>
10分			
展開	<p>3 解決の見通しをもつ</p> <p>4 計算の仕方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><math>2.3</math>と<math>2.8</math>を整数にする方法を考える</li> <li><math>23 \times 28</math>の計算をする</li> <li>整数の計算をすることについて考える</li> <li>小数の積の求め方について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被乗数が小数の場合にも整数にすれば計算できたことから乗数、被乗数を整数にすれば計算できることに気づかせる</li> <li>整数にする方法をコンピュータ教材を使って提示することを知らせ、その意味を考えさせる</li> <li>気づいたこと、考えたことを発表させ、話し合わせる</li> <li><math>2.3\text{kg}</math>、<math>2.8\text{m}</math>を小数に置き換える方法をプリントに記述させる</li> <li><math>23 \times 28 = 644</math>の計算をさせ、積の大きさについて話し合う</li> <li><math>23 \times 28 =</math>の積がもとの式の積の何倍になっているかをコンピュータ教材を見て考えることを知らせ、提示する</li> <li>気づいたこと、考えたことを発表させ話し合わせる</li> <li>644はもとの積の10倍になっていることをプリントに記述させる</li> <li>644を整数の積にする方法をコンピュータ教材を見て考えることを知らせ、提示する</li> <li>気づいたこと、考えたことを発表させ、話し合わせる</li> </ul>	<p>コンピュータ教材(3-1)</p> <p><b>評</b> <math>2.3\text{kg}</math>と<math>2.8\text{m}</math>を整数にする方法を説明できたか(プリント、発言)</p> <p>コンピュータ教材(3-2)</p> <p><b>評</b> 積が100倍になっていることを説明できたか(プリント、発言)</p> <p>コンピュータ教材(3-3)</p> <p><b>評</b> 積を1/100にすることが説明できたか(プリント、発言)</p>

25分		<ul style="list-style-type: none"> <li>・644をもとの積にする方法をプリントに記述させる</li> </ul>	
終末	<p>5 学習のまとめをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2.3×2.8の計算の仕方は  2.3を(10倍)して(23)に  します  2.8を(10倍)して(28)に  します  (23×28)の計算をします。  積が(100)倍になっている  ので(1/100)にします  (644÷100)の計算をします  答えは(6.44)です</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容をコンピュータ教材を使って教師と一緒にまとめる</li> </ul>	コンピュータ教材
10分	6 感想を記入する		

4/12時間

本時のねらいと具体的評価規準

○ 小数×小数の筆算の仕方を説明できる。(知識・理解)

A 小数×小数の計算の仕方をもとにして筆算の計算の仕方が説明できる。

B 小数×小数の筆算の仕方が説明できる。

Cへの支援

図を使って乗数、被乗数を整数と見て計算し、積を1/100にすることで小数の積を求めることができることをつかませる。

	学習内容・活動	指導上の留意点	コンピュータ教材・資料・評価		
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時学習内容の想起</li> <li>1 本時の学習内容を知る               <ul style="list-style-type: none"> <li>2.3×2.8を筆算で計算することを知る</li> </ul> </li> <li>2 学習課題を知る               <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2.3×2.8を筆算で計算しよう</div> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数を整数にして計算し、積を1/100にしたことを想起させる</li> <li>筆算での計算の仕方を学習することを知らせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙板書(前時まとめで使ったもの)</li> </ul>		
5分展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 解決の見通しをもつ</li> <li>4 筆算の計算の仕方を考える               <ul style="list-style-type: none"> <li>小数を整数に置き換え計算したときの小数点の移動を考える</li> <li>整数の計算をしたときの積の大きさを考える</li> <li>積を1/100にするときの小数点の移動を考える</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に計算させ、問題点を見つけさせる</li> <li>本時の学習は前時に学習した内容と小数点の動きを結びつけることを知らせる</li> <li>コンピュータ教材を提示し、前時に学習した小数を整数に置き換える計算と筆算の計算の共通点を見つけさせる</li> <li>気づいたこと、考えたことを発表させ、話し合わせる</li> <li>積が100倍になっていることと、もとの積の小数点が、右へ2けた移動していることを理解させ、プリントに記述させる</li> <li>コンピュータ教材を提示し、整数の積を2回1/10にすることで1/100になることと小数点を左へ2けた移動することを見つけさせる</li> <li>気づいたこと、考えたことを発表させ、話し合わせる</li> <li>積を1/100にすることと小数点を左へ2けた移動することを理解させ、プリントに記述させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータ教材(4-1)               <ul style="list-style-type: none"> <li>評 小数を整数と見るために乗数と被乗数を10倍していることを説明できたか(プリント)</li> </ul> </li> <li>コンピュータ教材(4-2)               <ul style="list-style-type: none"> <li>評 積が100倍になっていることと小数点を右へ2けた移動したことを説明できたか(プリント)</li> </ul> </li> <li>コンピュータ教材(4-3)               <ul style="list-style-type: none"> <li>評 積の小数点を移動することは積を1/100にしていることを説明できたか(プリント)</li> </ul> </li> </ul>		
30分終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 学習のまとめをする               <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; padding: 2px;">(2.3)を(10)倍する (2.8)を(10)倍する (整数)の計算をする (小数)にする</td> <td style="width: 40%; padding: 2px;">小数点について (右)へ(1)けたうつる (右)へ(1)けたうつる (左)へ(2)けたうつる</td> </tr> </table> </div> </li> <li>6 練習問題に取り組む</li> <li>7 感想を記入する</li> </ul>	(2.3)を(10)倍する (2.8)を(10)倍する (整数)の計算をする (小数)にする	小数点について (右)へ(1)けたうつる (右)へ(1)けたうつる (左)へ(2)けたうつる	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容をコンピュータ教材を使い教師と一緒にまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータ教材</li> </ul>
(2.3)を(10)倍する (2.8)を(10)倍する (整数)の計算をする (小数)にする	小数点について (右)へ(1)けたうつる (右)へ(1)けたうつる (左)へ(2)けたうつる				

5/12時間

本時のねらいと具体的評価規準

○ 小数×小数の計算で積の末尾の0を消したり、積が純小数になるときに1の位に0を補う場合の計算の仕方が分かる。(知識・理解)

A 積の末尾の0を消したり、積が純小数になるときに1の位に0を補う計算の仕方や、前時までに学習した計算の仕方との共通点が分かる

B 積の末尾の0を消したり、積が純小数になるときに1の位に0を補うことが分かる。

Cへの支援

末尾の0を消すことを既習事項を想起させ理解させる。小数の積を求める際に、小数点を左へ移動させたときに1の位に数字がないときは0を補うことを教える。

	学習内容・活動	指導上の留意点	コンピュータ教材・資料・評価
導入	<p>・前時までの復習</p> <p>1 問題提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <math display="block">\begin{array}{r} \textcircled{1} 4.9 \\ \times 3.1 \\ \hline \end{array}</math> <math display="block">\begin{array}{r} \textcircled{2} 4.2 \\ \times 7.5 \\ \hline \end{array}</math> <math display="block">\begin{array}{r} \textcircled{3} 0.4 \\ \times 2.3 \\ \hline \end{array}</math> </div> <p>2 学習課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     いろいろな小数のかけ算を筆算で計算しよう                 </div>		コンピュータ教材・資料・評価 紙板書（前時までの学習内容と本時の問題）
5分			
展開	<p>3 解決の見通しをもつ</p> <p>・計算の仕方を使えば計算できることをつかむ</p> <p>4 自力解決に取り組む</p> <p>・プリントに計算の仕方や考え方を記入する</p> <p>5 考えを発表する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     共通点                      小数を整数にしている                      整数の計算をしている                      積の小数点を移動している                      相違点                      ②は一番右の0を消している                      ③は1の位が空いているので1の位に0を書いている                 </div> <p>・3つの筆算について共通点と相違点を見つける</p>	<p>・前時までに学習したことを使えば計算できそうだと見通しをもてればよい</p> <p>・筆算で計算し、考え方を記入させる</p> <p>・記入できない児童には、筆算の仕方でも学習したことを一緒に確認し、考えさせる</p> <p>・児童が発表したことを教師が記入する</p>	<p>評前時までの学習を生かして問題に取り組んだか(観察)</p> <p>評末尾の0を消したり、1の位に0を補うことができたか(プリント)</p>
30分			
終末	<p>6 学習のまとめをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     (1)整数にする                      (2)整数のかけ算をする                      (3)小数点をつける                      (4)一番右の0を消す。1の位が空いたら0をつける                 </div>		
10分	<p>7 練習問題に取り組む</p> <p>8 学習の感想を書く</p>	<p>・期間巡視しながら丸つけを行う</p>	<p>評練習問題に取り組んでいるか(観察)</p>



1 問題  
 小数のかけ算を考えようワークシート（1時間）  
 （ ）

1 mのねだんが90円のリボンを、  
 m買いました。代金はいく  
 らですか。

数直線をかこう

0  (円)

0 \_\_\_\_\_ (m)

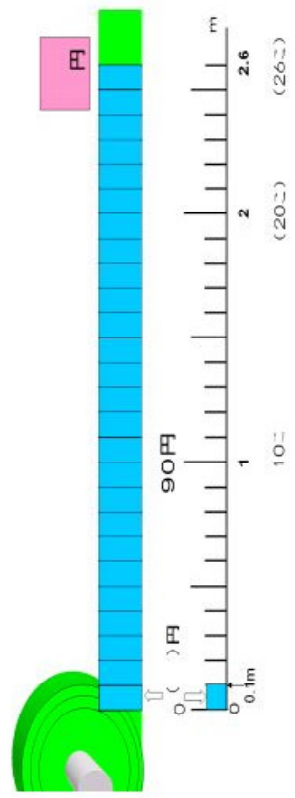
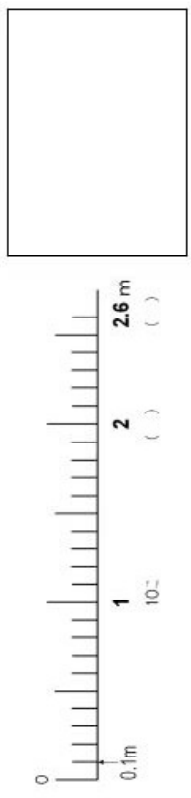
言葉の式

式

2 課題

3 見通す

4 やってみる



5 まとめ

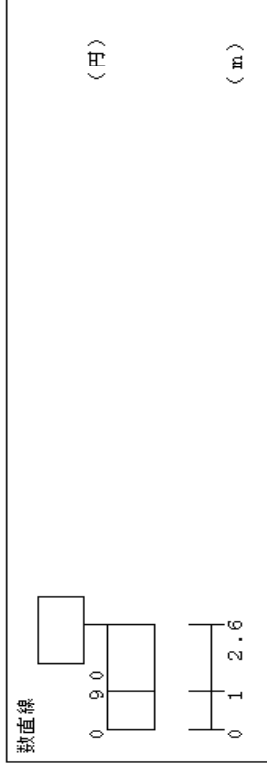
6 感想

Three horizontal lines for writing感想.

小数のかけ算を考えようワークシート (2時間)

1 問題

1 m のねだんが 90 円のリボンを、  
2.6 m 買いました。代金はいくらか  
ですか。



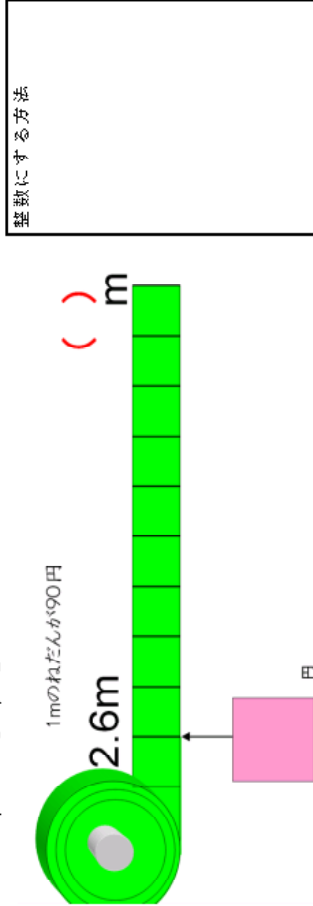
言葉の式  $1 \text{ m のねだん} \times \text{買った長さ (m)} = \text{代金}$

式  $90 \times 2.6 =$

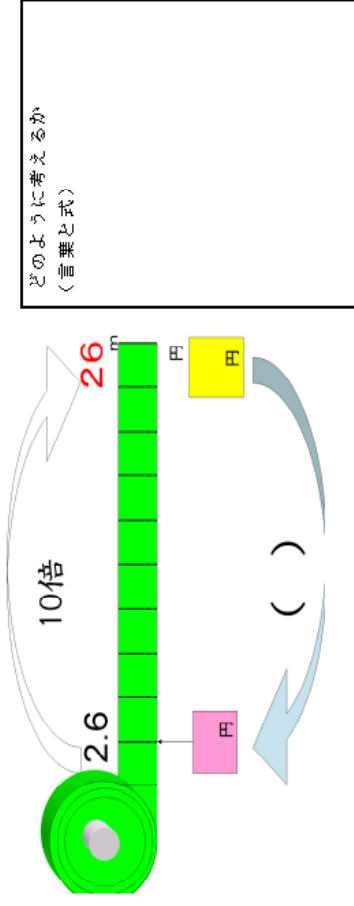
2 課題

3 見通す

4 やってみる



整数にする方法



どのように考えるか  
(言葉と式)

5 まとめ

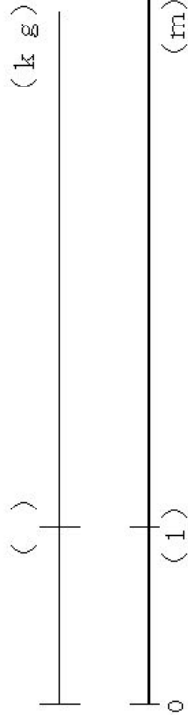
言葉	式
----	---

小数のかけ算を考えようワークシート（3時間）  
 月 日 番（ ）

1 問題

1 mの重さが2.3 kgのパイプがあります。  
 このパイプ  mの重さは何kgですか。

数直線をかこう



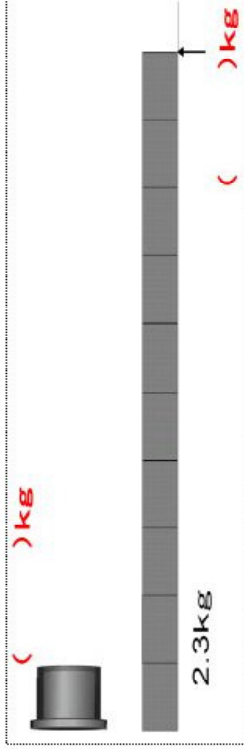
言葉の式

式

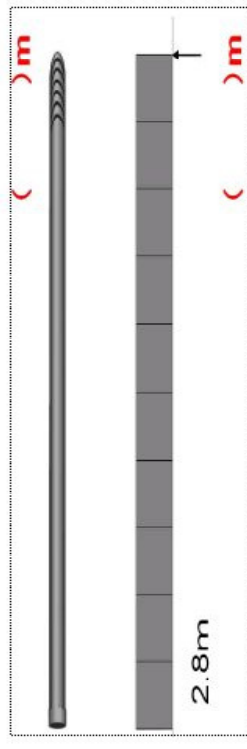
2 課題

3 見通す

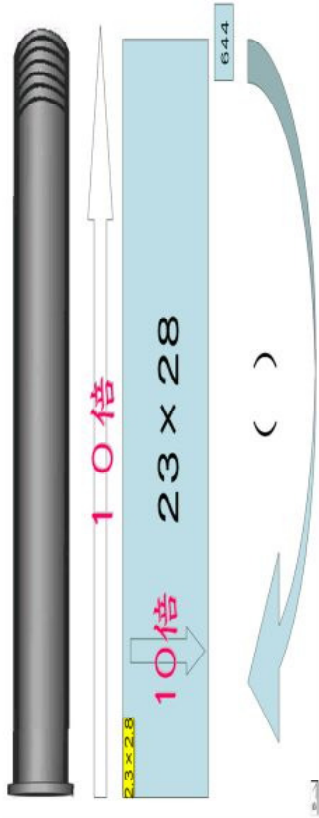
やってみる



整数にする方法



整数にする方法



自分の考え

答え k g

5 まとめ

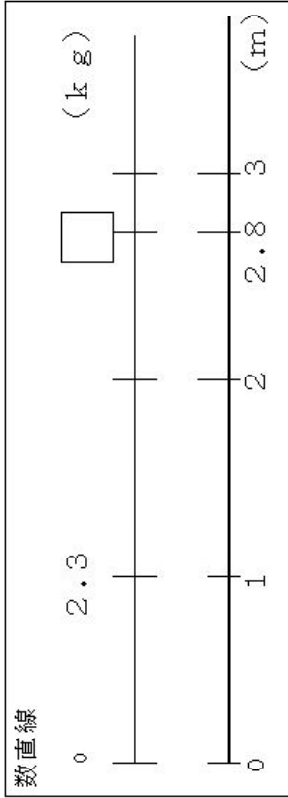
2.3 × 2.8の計算の仕方は  
 2.3を( )して( )にします。  
 2.8を( )して( )にします。  
 ( )の計算をします。  
 積が( )倍になっているので( )にし  
 ます。  
 ( )の計算をします。  
 答えは( )です。

6 感想


小数のかけ算を考えようワークシート (4 時間)  
( )

1 問題

1 m の重さが 2.3 kg のパイプがあります。  
このパイプ 2.8 m の重さは何 kg ですか。



言葉の式  $1 \text{ m の重さ} \times \text{長さ} = \text{全体の長さ}$

式  $2.3 \times 2.8 = 6.44$

2 課題

\_\_\_\_\_

3 見通す

$$2.3$$

$$\times 2.8$$


---

小数を整数にする方法

$$\begin{array}{r}
 23 \\
 \times 28 \\
 \hline
 \end{array}$$

小数点 ( ) へ ( ) けたうつる  
 倍  
 小数点 ( ) へ ( ) けたうつる  
 倍

$$\begin{array}{r}
 644 \\
 \times 644 \\
 \hline
 \end{array}$$

倍

小数点をつける方法

$$\begin{array}{r}
 23 \\
 \times 28 \\
 \hline
 \end{array}$$

小数点 ( ) へ ( ) けたうつる  
 $\frac{1}{10}$   
 小数点 ( ) へ ( ) けたうつる  
 $\frac{1}{10}$

$$\begin{array}{r}
 644 \\
 \times 644 \\
 \hline
 \end{array}$$

小数点 ( ) へ ( ) けたうつる  
 $\frac{1}{10}$

自分の考え

自分の考え

5 まとめ	
( ) を ( ) 倍す ( ) を ( ) 倍す ( ) の計算をす ( ) にする	小数点について ( ) へ ( ) けたうつ ( ) へ ( ) けたうつ ( ) へ ( ) けたうつ

6 ひろげる

$$\begin{array}{r} 4.3 \\ \times 5.6 \\ \hline \end{array}$$

$27 \times 36 = 972$ をもとにして、次の積を

求めましょう。

(1)  $2.7 \times 36 =$

(2)  $27 \times 3.6 =$

(3)  $2.7 \times 3.6 =$

7 感想


小数のかけ算を考えようワークシート（5時間）  
 月 日 番（ ）

1 問題

次の計算をしましょう。

①  $4.9$     ②  $4.2$     ③  $0.4$   
 $\times 3.1$      $\times 7.5$      $\times 2.3$

2 課題

\_\_\_\_\_

3 見通す

\_\_\_\_\_

4 やってみる

①  $4.9$   
 $\times 3.1$  \_\_\_\_\_

答えの見当（ ）  
 説明 1 2 3

②  $4.2$   
 $\times 7.5$  \_\_\_\_\_

答えの見当（ ）  
 説明 1 2 3

③  $0.4$   
 $\times 2.3$  \_\_\_\_\_

答えの見当（ ）  
 説明 1 2 3

＊8つの計算をして共通しているところとちがうところを見つけてみましょう。

共通しているところ
ちがうところ



5 まとめ

--

6 練習問題 (プリントに取り組みましょう)

7 感想


算数練習プリント

( )

答えの見当をつけてから計算しましょう

① 
$$\begin{array}{r} 4.9 \\ \times 5.6 \\ \hline \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 8.7 \\ \times 3.1 \\ \hline \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 7.2 \\ \times 9.3 \\ \hline \end{array}$$

④ 
$$\begin{array}{r} 2.5 \\ \times 7.6 \\ \hline \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 0.3 \\ \times 2.6 \\ \hline \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 0.8 \\ \times 1.2 \\ \hline \end{array}$$

① 見当 ( ) ② 見当 ( ) ③ 見当 ( )

次の計算をしましょう

① 
$$\begin{array}{r} 6.8 \\ \times 4.5 \\ \hline \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 8.5 \\ \times 5.2 \\ \hline \end{array}$$

③ 
$$\begin{array}{r} 3.6 \\ \times 9.5 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 0.4 \\ \times 2.1 \\ \hline \end{array}$$

⑧ 
$$\begin{array}{r} 0.6 \\ \times 1.5 \\ \hline \end{array}$$

指導細案（1時間目）

学習内容	発問、指示 児童の反応
<p>1 本時の問題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の提示したリボンをもとに本時の問題を知る</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整数の場合について数直線をかく</li> <li>・整数の計算をもとに言葉の式をつくる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の問題について立式する</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;"><math>90 \times 2.6</math></p>	<p>T 今日はこちらを使って勉強します。（リボンを見せる）これはなんだか分かりますか</p> <p>C リボン、ひも、テープ</p> <p>T そう、リボンですね。みんなは自分でリボンを買に行ったことあるかな</p> <p>C ある。無い。そんなの買わないよ</p> <p>T リボンを切って各班に渡す。（あらかじめ1m、2m、3m、に印を付けておき切りやすくする）</p> <p>T これは1m、これは2m、これは3mあります。代金分かるかな</p> <p>C 分かんない 1mの値段が分からないとだめ。長さだけだと代金は分からないよ</p> <p>T そうだね。問題文を出すね</p> <p>T 読みましょう</p> <p>C 読む</p> <p>T 1mの値段はいくらかな</p> <p>C 90円</p> <p>T □に1を入れてみるね。（1を貼る）代金は分かりますか</p> <p>C 90円です</p> <p>T どうしてですか</p> <p>C そう書いてあります。90円が1m分だからです</p> <p>T 2を入れてみるね。代金は分かりますか</p> <p>C 180円</p> <p>T どうやってやったの</p> <p>C <math>90 \times 2 = 90 + 90</math></p> <p>T どうして</p> <p>C 2mだから90円が2つあります</p> <p>T 今度は3を入れてみるね 代金は分かりますか</p> <p>T なかなかすばらしいですね。もっとよく分かるように数直線を一緒にかいてみましょう（紙板書を貼り一緒に書く）</p> <p>T 次に言葉の式をつくりましょう</p> <p>T みんなが立てた式の中でこの90というのは何ですか</p> <p>C 1mの値段です</p> <p>T じゃ、1mの値段×となるね</p> <p>T ×のあとはどうすればいいかな。2とか3とかなんですか</p> <p>C 買った長さです</p> <p>T じゃ1mの値段×買った長さとするればいいですね。よんでみましょう。プリントに書いてください</p> <p>T さあここから今日の本当の問題ですよ。（2.6を貼る）</p> <p>T 買った長さが実は2.6mなんです。どんな式になるかな</p> <p>C <math>90 \times 2.6</math></p> <p>T どうしてそう思ったの</p> <p>C 整数のときはかけざんだったから</p> <p>C 言葉の式に当てはめました</p> <p>C 問題文の意味も変わっていないから</p>
<p>2 学習課題を知る</p> <p>3 解決の見通しをもつ</p> <p>4 計算の仕方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2.6を整数に置き換える方法を考える</li> </ul>	<p>T 今日は何の勉強をするかというのと <math>90 \times 2.6</math> の計算の仕方考えます</p> <p>T さあどうすれば計算できそうかな</p> <p>C 小数点がなければ簡単</p> <p>C 難しいな</p> <p>T さっき簡単にできたのはどういう問題だった</p> <p>C 整数</p> <p>T この小数が整数なら計算できそうだよ</p> <p>T でも勝手に整数にできないから、何とか整数にする方法を考えて計算していきたいんです。そこで、まずみんなには2.6を整数にする方法を考えてもらいます。何かアイデアありますか</p> <p>C 小数点を取る。10倍する。分からない。0.1が26個</p> <p>T そこで今日は整数にする方法をコンピュータの画面を見て考えてもらいます。じっくり見てくださいなね</p> <p>(提示する)</p> <p>*見る観点としては2.6を整数にする方法を考えるということを知らせておく</p> <p>T どうでしたか。2.6を整数にする方法を発見できましたか</p> <p>C 2.6は0.1が26個</p> <p>C 2.6mは0.1mが26個</p> <p>C よく分からない</p> <p>T 2.6mは0.1mが26個という考えが出てきました。もう一度見せ</p>

<p>・整数での計算の仕方について考える</p>	<p>るので確かめてください  T まず2.6mを数直線に表します。次に1mは0.1mが10個2mは20個、2.6mは…… どうでしたか  C なりました  T 2.6mは0.1mが26個  T 次に0.1mが26個を使って計算していくんですがいい考えが浮かんだ人はいますか  C 0.1mの金額を求める。26のまま計算する、よく分からない  T 今度はこの考えを使ってどうやって計算をして代金を求めるのかを見せます。またよく見て考えてくださいね  T 画面を見て、何かひらめいた人はいますか。(いた場合) おお、すごい。等ほめる  T 何かひらめいた人は、ひらめいたことを発表してください  C テープが動いた  C 0.1mがいくらするかを求めている。  C 0.1mが9円だから9円かける26をする  T なるほど、0.1mの金額を求めるんですね。もう一度見せますね  T 0.1mの値段を求める方法分かるかな  C 1mは0.1mが10個だから90を10でわる  T 1mの値段と0.1mが10こを使って0.1mの代金を求めるんだね  T 0.1mの代金を求める式はどうなりますか  C <math>90 \div 10</math>  C <math>90 \div 10</math>をして9円です  T この9円を使って2.6m分の代金を求めます  T 続きを見せますね。よく見て考えてください  T どうやっていましたか  C 2.6mは0.1mが26個分だから9円が26個分になる  C 0.1mが26個だから <math>9 \times 26</math>をしていた  T そうだね。じゃ答えを出せますか  C <math>9 \times 26 = 234</math>  C 234円  T 今日勉強したことをプリントに書いてください</p>
<p>5 学習課題のまとめをする</p>	<p>* コンピュータ教材を提示し児童と応答しながらまとめを行う  T 0.1mをもとにして2.6mは0.1mが26個と考えて計算しましたね</p>
<p>6 感想を記入する</p>	<p>T 今日の感想を書いてください。  T 発表してください。</p>

指導細案（2時間目）

学習内容	発問、指示 児童の反応
<p>・前時学習内容の想起  1 本時の学習内容を知る</p>	<p>T 前の時間は0.1mをもとにして2.6mを26こという整数にして計算しましたね。  T 今日の問題はこれです。昨日と同じ問題です（紙板書を貼る）  T 図の書き方をもう一度確認しておきましょう  T 今日は同じ問題を別のやり方で整数にして計算する方法を考えていきたいと思います  T 何かアイデアのある人はいますか  C 26にする。26mにする。小数点を消す。難しい  T 今日の課題は <math>90 \times 2.6</math> を別の方法で計算しようにします</p>
<p>2 学習課題を知る</p>	<p>T みんなはどんな整数になると思いますか。見通しに書いてみてね。どうすると思うか書いってくださいね。</p>
<p>3 解決の見通しをもつ</p>	<p>C 26かな。(板書) 10倍かな 小数点を取る。</p>
<p>4 計算の仕方を考える  ・2.6を整数にする方法を考える</p>	<p>T そこで今日も整数にする方法をコンピュータの画面を見て考えてもらいます。どうやってどんな整数にしているかをじっくりと考えてください  * 見る観点としては2.6を整数にする方法を考えるということを知らせておく  T どうやってどういう整数にしていたか  C 26 26m  C 10倍してた  C 2.6mを26mにする  C 10倍していた  C よく分からない  T 2.6mを26mにしていたね。どうやって26mにしたかをもう一度じっくりと見て考えてください。  T どうでしたか  C やっぱ10倍してた  * 10倍が納得できないようだったら一緒に数え10個分になってい</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>整数での計算について考える</li> </ul>	<p>ることや2.6の10倍が26であることから理解を図る</p> <p>T 2.6mを10倍した26mを使って計算する方法を考えていきます何かひらめいた人はいますか</p> <p>C 26m分の代金を求めて計算する</p> <p>C よく分からない</p> <p>C <math>90 \times 26</math>をする</p> <p>T 今度はこの考えを使って、どうやって計算をして代金を求めるのかを見せます。またよく見て考えてくださいね</p> <p>T 何かひらめいた人はいますか。(いた場合) おお、すごい。等ほめる</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>2.6mの代金を求める方法を考える</li> </ul>	<p>T 何かひらめいた人は、ひらめいたことを発表してください</p> <p>C 26mの代金を求めてから2.6mの代金を求めた</p> <p>C 26mの代金は10倍になっている</p> <p>T 26mの代金を求めたあとどうすればいいかをよく考えてね</p> <p>C 小さくする。10倍の反対をする。10でわる。1/10にする</p> <p>* 10でわるや、1/10にするが出た場合はそのことを教材を見て確かめていく</p> <p>* 10でわるや、1/10にすることが出ない場合はリボンが短くなったこと、10倍したことを手掛かりにどのくらいの大きさにすればよいかを考えさせる</p> <p>T もう一度確かめながら見ていくからね。</p> <p>T まず10倍した金額を求めるんだね。(板書) そのときの式は</p> <p>C <math>90 \times 26 = 2340</math></p> <p>T 2340はもとの答えの何倍かな。</p> <p>C 10倍</p> <p>T 次にこの金額は10倍になっているから1/10にするんだね。そのときの式は</p> <p>C <math>2340 \div 10</math></p> <p>T 今勉強したことをプリントに書いてください</p> <p>T 今日の計算は2.6mを10倍して26mと考えると計算したんだね</p> <p>T 前の時間に計算したやり方と今日のやり方で共通していることはありますか</p>
<p>5 話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時のやり方との共通点を見つける</li> </ul>	<p>C 答え</p> <p>C 2.6を26にしている</p> <p>C 整数にして計算している</p>
<p>6 学習のまとめをする</p>	<p>* コンピュータ教材を提示し児童と応答しながら計算の仕方をまとめる</p>
<p>7 練習問題に取り組む</p>	<p>T 練習問題をします。(p75①)をしましょう。今日勉強したやり方でやってみましょう</p> <p>T 問題を読みましょう。</p> <p>* 図が難しいときには一緒に書く</p> <p>* 答え合わせに教材を使う</p>
<p>8 感想を記入する</p>	<p>T 今日の感想を書いてください</p> <p>T 発表してください</p>

指導細案 (3時間目)

学習内容	発問、指示 児童の反応
<p>1 本時の問題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整数の場合について数直線を書く</li> <li>整数の計算をもとに言葉の式をつくる</li> </ul>	<p>T 今日の問題はこれです (紙板書で問題を提示する)</p> <p>T 読んでみましょう</p> <p>C 1mの重さが2.3kgのパイプがあります。このパイプ□mの重さは何kgですか</p> <p>T できそうですか</p> <p>C □の中に数字がないとできません</p> <p>T そうだね じゃまず2を入れてみようか</p> <p>T 読んでみましょう</p> <p>T できますか</p> <p>T 数直線をかきましょう。かけそう、それともまだ難しい。一緒に書こうね。今日は鉛筆で自分のプリントと一緒に書きます</p> <p>T まず、何についての問題ですか</p> <p>C 1mが2.3kgのパイプの問題です</p> <p>T どれだけありますか</p> <p>C 2mあります</p> <p>T 式は言えますか</p> <p>C <math>2.3 \times 2</math></p> <p>T 答えは</p> <p>C 4.6</p> <p>T 言葉の式をつくりましょう</p> <p>T 2.3は何ですか</p> <p>C 1mの重さ</p>

<p>・本時の問題について立式する</p> <p>2 学習課題を知る</p>	<p>T 2は何ですか C パイプの長さ T 言葉の式は、1mの重さ×パイプの長さ＝全体の重さになりますね T じゃ今日の問題は (2.8と□に記入する) C 読む T 2.8は数直線ではどこになりますか C 2と3の間くらいです *数直線上で確認する T 式は分かるかな T 式を書いてみてください T 発表しましょう C 2.3×2.8です。言葉の式に当てはめました C 問題が同じで数字が変わっただけだから C 数直線で見ても同じだから T 前の式とどこがちがいますか C 小数×小数になっている T そうだね。今日は小数×小数の問題ですね T 2.3×2.8の計算の仕方を考えようを課題にします</p>
<p>3 解決の見通しをもつ</p> <p>4 計算の仕方を考える ・2.3と2.8を整数にする方法を考える</p> <p>・23×28の計算をする</p> <p>・整数の計算をすることについて考える</p>	<p>T さあ、どうすれば計算できそうかな T 見通しのところにどうやったらできそうか書いてみてください C 小数点がなければ簡単 C 前の時間みたいに10倍にする C 難しいな C 整数ならできる T どんな整数になりそうですか C 23と28 T どうやって整数にするとおもいますか C 10倍する T 本当にそうなるか見てみましょうね(2.3kgについて考えさせる) T 整数にするためどうしていましたか * 2.3kgが23kgになっていることと10倍になっていることが指摘できればよい C 10倍している 23になっている T 次に2.8を整数にするからね * 2.8mが28mになっていることと10倍していることが指摘できればよい T これで整数になったね T プリントに整数にする方法を書いてください 式は23×28になったね(板書)これなら計算できるかな C それならできる T じゃあ計算してみましょう。まず23×28の答えを求めましょう T いくらになりましたか C 644 T これ単位なんだか分かる C kg T じゃ問題の答え、644kgということかな C なんか変だよ 重すぎる いいと思う T ちょっと重すぎる感じだね。正しい答えと比べてどうなっているんだろうね。 C 10倍したから10倍になっている。10倍して10倍しているから100倍になっている。2回10倍したから20倍になっている 分からない難しい T なるほどなるほど。他の人たちはどう。 T じゃあ、644は正しい答えと比べるとどうなっているか考えてみてね T 見せます。よく見ていてね C 大きくなった C 644は本当の答えの100倍になっている C 10倍を2回するから100倍になっている T どのくらい大きくなっているのかを考えてみようね (教材をもう一度提示する) T どう ポイントは最初に何倍して次に何倍しているかなんだけ どなあ C ああ100倍かな T 100倍だって どう思う T 確かめよう(教材をもう一度提示する) C 100倍だ</p>

<p>・小数の積の求め方について考える</p>	<p>T まず2.3を10倍して、次に2.8を10倍しているね。ということは10倍してもう一度10倍だね  C やっぱり100倍だ  T ということは整数にして計算すると積は何倍になるの  C 100倍です  T 次にどうすればいいと思いますか  C 小さくする  C 1/100にする  T まず小さくするというのみんな共通しているね。どのくらい小さくすればいいのかを考えていきましょう  T 教材を見せます  T どうなっていましたか  C 1/10になっていた。1/100になっていた  T どっちだろうね  T 何回1/10にしていたかな  C 2回  T 1/10にしてもう一度1/10にすることだよ  T もう1回見て確認しましょう  T まず1回1/10にします。1/10にしたものをもう一度1/10にします  C 1/100だ  T 積が100倍になっているから1/100にするんだね  T 1/100にする式は何だろう  C <math>644 \div 100</math>  T 今勉強したことをプリントに言葉と式を使って書いてください</p>
<p>5 学習課題のまとめをする 6 感想を記入する</p>	<p>* コンピュータ教材を提示し児童と応答しながらまとめを行う  T 今日の感想を書いてください  T 発表してください</p>

指導細案（4時間目）

学習内容	発問、指示 児童の反応
<p>・前時学習内容の想起 2.3×2.8の計算の仕方を考えたことを想起する</p> <p>1 本時の問題を把握する ・2.3×2.8を筆算で計算することを 2 学習課題を知る</p>	<p>T 前の時間に2.3×2.8の計算をするために勉強したことは何でしたか  C 2.3と2.8を整数にした  C 10倍して整数にした  C 23と28にした  C 答えを1/100にした 答えを100でわった  T そうだったね。今日は2.3×2.8を筆算で計算する方法を勉強します  T 課題は「2.3×2.8を筆算で計算しよう」にします。</p>
<p>3 解決の見通しをもつ</p>	<p>T 見通しのところに筆算の式を書いておきました  T どうですか。計算できそう。ちょっと難しそう  C できそう  C 難しそう  T どうすればできそうですか  C ふつうに計算する（出たらふつうの意味を聞く）  C 整数の計算をしてから小数点を付ける  T じゃ一回やってみましょう  （何人かのものを紹介する。机間巡視をしながら取り扱う児童を決める）  T 筆算をやってみてどうでしたか  C 簡単  C 難しい  C ちょっと分からない  T どこが難しいところになるのかな  C 小数点  T やっぱり小数点をどうするかがポイントになるね  T それじゃあね、小数点をどうするかを今日は考えるからね  T 実は今日の勉強はほとんど昨日勉強したことなんです。今日のポイントは昨日まで勉強した計算の仕方と筆算を合体させることなんです</p>
<p>4 筆算の計算の仕方を考える ・小数を整数に置き換え計算したときの小数点の移動を考える</p>	<p>T コンピュータの画面を見せます。昨日勉強したことが出てきます。まずそれを見つけてください  T 見つけましたか  C 10倍しているところ  T 何のために10倍にしたんだっけ  C 整数にするためです</p>

	<p>* 100倍と関連づけを明確にするためそれぞれやどちらもという言葉を大切に扱う</p> <p>C 644も同じです</p> <p>T 644に着目したんだね</p> <p>C 644は6.44を100倍した数です</p> <p>T 次に、昨日まで何とかしたいといっていた小数点がどうなっているかを見つけてください</p> <p>C 右に1けた動いている</p> <p>C 10倍すると右に1けた動いている</p> <p>T 10倍すると右に1けた動いていますね</p> <p>T それぞれ1けた動いているよね。ということは全部で何けた動いたことになりますか</p> <p>C 2けた</p> <p>T ということは644は本当の答えの何倍になっているのかな</p> <p>C 100倍です</p> <p>T プリントに書きましょう</p> <p>T 次に小数点を付けるところを見せます</p> <p>T まず昨日勉強したことを見つけてください</p> <p>C 1/10している 答えを1/100にする</p> <p>T 次に小数点がどうなっているかを見つけてください</p> <p>C 左へ1けた動く。答えは左へ2けた動く</p> <p>T プリントに書いてください</p>
<p>・ 整数の計算をしたときの積の大きさを考える</p> <p>・ 積を1/100にするときの小数点の移動を考える</p>	
<p>5 学習のまとめをする</p> <p>6 練習問題に取り組む</p> <p>7 感想を記入する</p>	<p>* コンピュータ教材を提示し児童と応答しながらまとめを行う</p> <p>T それでは練習問題に取り組みましょう</p> <p>T 今日の感想を書いてください</p> <p>T 発表してください</p>

指導細案（5時間目）

学習内容	発問、指示 児童の反応
<p>・ 前時学習内容の想起</p> <p>1 本時の問題を把握する</p> <p>2 学習課題を把握する</p> <p>3 解決の見通しをもつ</p>	<p>T 前の時間に筆算の計算の仕方を勉強しましたね。それでは、確認をしましょう</p> <p>C 整数にするために10倍する。小数点が右へ1けたうつる。答えは100倍になる 1/100にする</p> <p>T 今日の問題はこれです(紙板書で提示する)</p> <p>T 今日は いろいろな小数のかけ算の問題を筆算で計算をします</p> <p>T どうやればできそうですか</p> <p>C 10倍して整数にして、計算して1/100にする</p>
<p>4 自力解決に取り組む</p> <p>・ プリントに計算の仕方や考え方を記入する</p> <p>5 考えを発表する発表</p> <p>・ 3つの筆算について共通点と相違点を見つけるいる</p>	<p>T それではやってみましょう。</p> <p>* 机間巡視をして指名する児童を決めておく</p> <p>* 3名指名する正解をもとに検討を加え一般化を図りたいのできている児童を指名する</p> <p>T それでは発表してもらいましょう。指名</p> <p>* 児童の説明を板書する</p> <p>T 皆さんどうでしたか</p> <p>C できてた。ちがってた</p> <p>T それではこの3つの計算を比べていきましょう。</p> <p>T 前回勉強したのとやり方がすっかり同じ計算はどれですか</p> <p>* 前時の復習で確認したことと、やり方が同じものを見つける</p> <p>C ①です</p> <p>T じゃ、①と同じところを②、③から見つけてプリントに書いてください</p> <p>C 10倍して整数にしているところ 整数の計算をしているところ 答えが100倍になっているところ 1/100にしているところ</p> <p>T 次にちがうところを見つけて書いてください。</p> <p>T 発表してください。</p> <p>C 0を消している。 1の位に0を書いている。</p>
<p>6 学習課題のまとめをする</p> <p>7 練習問題に取り組む</p> <p>8 感想</p>	<p>* 児童と応答しながら学習のまとめをする</p> <p>T それでは練習問題に取り組みましょう。</p> <p>* プリントを配布</p> <p>T プリントに取り組んでください。</p> <p>* 机間巡視をしながら丸つけをする。</p> <p>T 今日の感想を書いてください</p> <p>T 発表してください</p>